

製品名: カルビンジン D28K ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07846**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	CALB1
別名	CALB1; CAB27; Calbindin; Calbindin D28; D-28K; Vitamin D-dependent calcium-binding protein, avian-type
遺伝子 ID	793.0
SwissProt ID	P05937
免疫原	抗血清はヒト CALB1 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 191-240

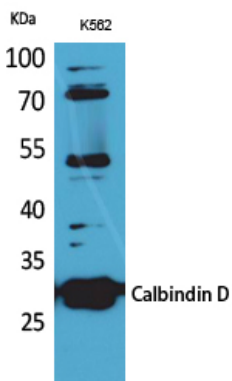
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、カルモジュリンやトロポニン C を含むカルシウム結合タンパク質スーパーファミリーのメンバーです。当初は 27 kDa のタンパク質として記載されていましたが、現在では 28 kDa のタンパク質であることが知られています。4つの活性カルシウム結合ドメインと、カルシウム結合能を失ったと考えられる2つの修飾ドメインを有しています。このタンパク質は、グルタミン酸受容体への刺激によるカルシウムの流入を緩衝すると考えられています。ハンチントン病患者において、このタンパク質の枯渇が報告されています。[RefSeq 提供、2015年1月],domain: このタンパク質は4つの機能的なカルシウム結合部位を有し、そのうち II および VI はカルシウムとの親和性を失っています。 ,function: 細胞質カルシウムを緩衝します。膜 Ca(2+)-ATPase および 3',5'-環状ヌクレオチドホスホジエステラーゼを刺激する可能性がある。 ,オンライン情報:カルビンジンエントリ,類似性:カルビンジンファミリーに属する。 ,類似性:5つの EF ハンドドメインを含む。 ,サブユニット:RANBP9 と相互作用する。 ,

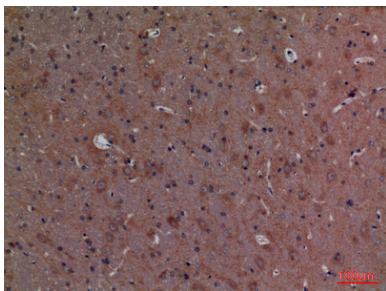
研究分野

神経科学

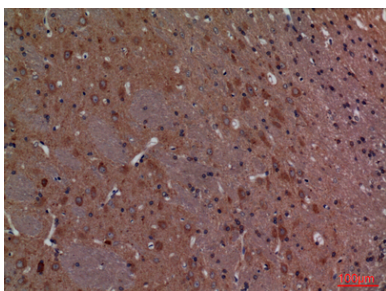
画像データ



カルビンジン D28K ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された